

2015年10月2日

タイでマングローブを植樹

8月22日、タイ Samutsongkram 県の海岸にて、タイ日本電産、タイ日本電産精密、日本電産コンポーネントテクノロジー（タイ）の3社が合同で、マングローブの植樹活動を行いました。

今回は、3社の従業員とその家族をあわせた280名が参加し、50cmほどになるマングローブの幼木1,000本を指定されたエリアに植えました。

タイでの植樹の取り組みは2007年度にスタートしました。年に一度の大きな社会貢献行事のひとつとして、洪水被災により中止となった2012年度を除いて毎年実施しており、今年で8回目となります。これまでの参加者は延べ2,200名で、累計9,110本を植えてきました。植樹によるCO2吸収量は約132トン※になると推計しています。



タイ日本電産、タイ日本電産精密、日本電産コンポーネントテクノロジー（タイ）では、地球環境の保全を考えた継続的な改善の取り組みが非常に大切だと考えています。地球温暖化防止や温室効果ガス削減にフォーカスしたエネルギー消費改善活動、そしてこの植樹のような環境保全活動を継続的に実施することで、地球環境に貢献していきます。

※ 一本当たりのCO2吸収効果を植樹後4年目まではゼロ、5年目以降は年間11kgとの前提で推計。